

いちごいちえ 一期一会

小千谷市立総合支援学校 進路指導部

高等部の前期実習が終わりました。今回の実習に向けて、バス利用の練習や、実習先までの送迎、お弁当の用意、実習先への挨拶など様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。今回も、子どもたちは多くのことを学んできています。私自身も実習先を巡回して、多くのことを学ばせてもらいました。

長く働き続けるために

先日、新潟県産業労働観光部労政雇用課が出している「若者のための労働ハンドブック」が学校に届きました。この本には、これから働く若者に知っておいて欲しいことがまとめられています。

この本の中で特に心に残ったのは、「長く働き続けるために」の章です。次のようなことが書かれていました。

苦しみを乗り越えよう

就職すると3つの苦しみがあると言われていています。気持ちを引き締め仕事に取り組みましょう。

(1) 叱られること

時には仕事で失敗し、先輩や上司から叱られることがあるかもしれません。でも働いてお金をもらうのですから、仕事は楽しいことばかりとは限りません。感情的になり、安易に仕事を辞めるのではなく、素直に受け止め、反省し、向上心をもってその後の仕事にのぞむ姿勢が大切です。

(2) 上司の命令

学生時代の友人のヨコの関係とは違い、上司や先輩とはタテの関係となります。時には厳しい指示があることでしょう。その指示の裏には期待が込められているかもしれません。納得できなければ、指示の趣旨をしっかりと確認し、従うことも重要なことです。

(3) 難しい人間関係

好きな人を選んでつきあうことができた学生時代とは違い、上司、同僚は自分で選ぶことはできません。年齢や性格が違う様々な人が同じ目的のために働くのが職場です。お互いに良い所を認め合える人間関係を築いていきましょう。

この話が労働ハンドブックに書かれているのは、簡単に仕事を辞めてしまう若者が多いからです。そして、辞める理由は我慢が出来ないからのようです。叱られて辞める、上司の命令に素直に従えない、人間関係を築けない(上手く処理できない)、そして簡単に辞めてしまう。働くということは苦しいことが必ずあります。それをわかっていること、そして苦しさにも耐える力を持つことが働き続けるために必要だと感じています。働き続けるためには、その覚悟が必要となります。その覚悟をもってもらえるように子ども達に伝えていかななくてはいけないと感じました。保護者の皆様からも、お仕事のやりがいと合わせてお仕事の大変な(つらい)こともお話いただけるとありがたいです。そして「それでも、がんばっているよ」と伝えていただきたいと思います。

保護者の皆様の声（実習アンケートより抜粋）



Q 1 今回の実習でお子さんにどんな成長が見られました

- ・公共交通機関（バス）の利用方法を習得することが出来ました。
- ・「卒業したらここで働きたい」と具体的に自分の将来がイメージすることが出来るようになりました。
- ・2年生になると2週間と長くなり、きついなあと思いましたが、休むことなく行ってきて良かったです。
- ・疲れた・・・と言わずに頑張ったと思います。
- ・普段使わない路線バスを使用して、実習先まで通勤したこと。
- ・苦手だった「箱折り」の仕事が出来るようになりました。
- ・やっちはいけない行為に対しての反省や謝罪する気持ちが見られたこと。
- ・時間内に目標の数を成し遂げたことが自分にとって自信がついたみたいです。
- ・元気よく頑張ってきました。ほめ言葉をいただき、ありがたかったです。
- ・自分で通勤時間や仕事の開始時間を気にするようになりました。また、その時間に間に合うよう行動しようとする気持ちを持てたように感じました。
- ・初めての实習先で場所や作業で緊張もあり、友達がない環境でも1日実習して帰ってきました。
- ・成長は特に見られなかったが、理解しようとする姿を感じることができた。
- ・今回は2週間バスでしたが、ちゃんと回数券を用意したのでお金や手帳を運転手さんに見せて乗車出来ました。2週間お仕事を嫌がらずに毎日頑張っていました。

Q 2 実習を通して、お子さんの将来の生活について考える機会がもてたことと思いますが、保護者の方が学んだことや感じたことをお聞かせください。

- ・周囲の方々の温かいご指導が、こんなにも実習を生き生きとしたものにするのかと実感しました。環境選びはやはり大事なのですね。
- ・2週間は良い経験でした。
- ・今以上、自立に向けて日々努力しないとと思いました。
- ・親の方が心配で「きちんとバスに乗れたか」とか「きちんと仕事をしているか」とか不安ばかりでしたが、本人が家に帰ってきた姿を見ると、何回か練習をすれば自信もつくし、やる気もでてくるんだなと思いました。
- ・何回か繰り返し取り組むことで、苦手なことも出来るようになったので頑張ってもらいたいです。
- ・社会生活におけるルールなど不足な点があることを感じました。
- ・本当に、一生懸命がんばって働いてくれたようで、会社の人にも「また来てね」と言われたことが嬉しかったようです。
- ・支援学校の実習を受け入れて実習を行ってくれる企業はありますが、今日はまた別の話ということになります。一般就労を目指しますが、容易なことではないと感じました。
- ・卒業後は今回の実習先で仕事をさせていただければと思います。グループホームも将来は考えています。
- ・同じことでもその都度確認しなければならない事があるのだと思った。以前実習した場所でもそこがどういう場所なのかを理解していない部分があり、そこは思ってもみなかった。以前、行ったから大丈夫だろうと過信していた。
- ・現場実習で大事なことをたくさん学んでくれたと思いました。将来のことを考える

と、まだいっぱい不安があります。親としてどうすれば子どものためになるか悩むことばかりですが、少しずつですが子どものために考えていきたいです。

Q3 今回の実習で気付かれたこと（次回の実習についてや社会参加について思うことなど）をお聞かせください。

- ・現実の社会はやはり厳しいものだと思います。少しハードルを上げて克服していくことも体験してほしいと思います。
- ・実習が普段の生活と違うので、慣れていく（学んでいく）ことが今後の課題です。
- ・なかなか支援員さんに挨拶ができなく、日々（毎日）の積み重ねだと思いました。
- ・実習先の顔合わせのときに「挨拶」「時間を守る」「連絡・報告・相談」と働くのに必要なことを話して、「障がい者だから」といって特別なことはない子どもに話をしました。
- ・色々なことにチャレンジしてもらいたいです。
- ・社会参加の大変さやマナーについての認識不足を思いました。
- ・この実習で自分に自信がもてたことが何よりも嬉しいことです。
- ・本人は体力不足が課題ですが、次回の実習でも体力仕事を避けることなくいろいろな業種を経験できたなら、と思います。
- ・より細かい正確な作業ができればと思います。
- ・一般企業と福祉事業所の違い、福祉事業所でも違いがあることをよく説明していただけると良い。個々の得意なことをひきのばせるよう聞き取り（本人に）もしていただきたい。
- ・ひかり工房で少しずつ学んだ（バスの乗り降り、学校とは違う人間関係）ので、今度は違う福祉事業所で実習出来たら良いのかと考えています。

次回の進路教室ご案内

次回の進路教室のご案内です。

日時 9月27日（木）13:30～15:00
場所 小千谷市立総合支援学校 ランチルーム
内容 「一般就労を考える」
・ 障害者雇用制度
・ 一般就労をするために必要な力
・ 仕事を長く続けるために必要なこと
・ ご家庭で身に付けてほしいこと

ハローワーク長岡専門援助部門（障害者雇用を専門的に行う部門）の齋藤喜広様からお話いただきます。障害者雇用の成功も失敗も様々な場面を見てこられた齋藤様から「働く」ために必要なことを学ぶ貴重な機会になるかと思えます。参加希望を出していただく正式な案内文は夏休み明けに配付します。多数のご参加お待ちしております。

お問い合わせ等ありましたら下記までご連絡ください。

小千谷市立総合支援学校

担当：進路指導主事 渡邊 憲将

TEL 0258-82-1878 FAX 0258-82-1889